

## 第7回遺伝子治療シンポジウム “幹細胞の機能制御と難病治療への応用”

主 催：NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議

後 援：近畿経済産業局、日本遺伝子治療学会

遺伝子治療においては導入遺伝子の発現を長期化し制御していくことが長年の大きな課題である。特に、重症免疫不全症のような単一遺伝子の変異による遺伝性疾患の場合には、自己複製能と多分化能を持つ造血幹細胞を用いれば長期治療効果が期待できると考えられるようになった。しかし骨髄幹細胞への遺伝子導入を用いた X-SCID (X-linked severe combined Immunodeficiency) の遺伝子治療では高頻度で発がんもおこっており、幹細胞の遺伝子操作をいかに安全で有効に行うかが治療法のない難治性疾患の治療の鍵を握っているという認識に至っている。一方、再生医療においては、幹細胞、特に体性幹細胞を用いた細胞療法が治療効果の点で評価されてきた。これら両者の研究の流れは自然と一体化し、幹細胞自体の研究の進展とともに、遺伝子治療の分野においても遺伝性疾患にとどまらず、がんや循環器疾患の治療に対する幹細胞遺伝子治療の有効性が見出されてきている。今後ますます幹細胞の機能制御の基礎研究と難病治療への応用研究が脚光を浴び、遺伝子治療においても再生医療においてもブレークスルーとなることが十分期待できる。

本シンポジウムでは、幹細胞の機能制御の研究から治療への応用を目指している日本を代表する講演者を招聘することができた。各講演者の最新の研究成果をもとに、幹細胞を用いる医療の是非と将来の難病治療の可能性について議論したいと考えている。

このシンポジウムが我が国における遺伝子医薬品、分子医薬品の実用化に貢献することを祈念します。

日 時：平成 21 年 1 月 30 日（金） 13：00 — 18：10

場 所：千里阪急ホテル 2 F 仙寿の間

（大阪府豊中市新千里東町 2-1-D-1 TEL：06-6872-2211）

参加費：無 料

問合せ：NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議（遠山、井上、橋本、大嶋）

TEL：06-6459-6795 FAX：06-6447-7011

E-mail：moshima@kinkibio.com

## 【 プログラム 】

13：00 — 13：10

主催者挨拶：NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議 理事長 清水 當尚

13：10 — 14：10

### 第 1 部：“遺伝子分離と導入技術の開発”

座 長：金田 安史（大阪大学大学院 医学系研究科 遺伝子治療学 教授）

演 者：戸田 達史（大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝学 教授）

“糖鎖異常と筋ジストロフィー ～病態・治療戦略～”

演 者：三谷 幸之介（埼玉医科大学 ゲノム医学研究センター 遺伝子治療部門 教授）

“ウイルスベクターを利用した幹細胞染色体操作の効率化”

14：10 — 15：10

### 第 2 部：“癌治療への応用”

座 長：藤原 俊義（岡山大学大学院 医歯学総合研究科

遺伝子・細胞治療センター／消化器・腫瘍外科学 准教授）

演 者：青木 一教（国立がんセンター がん宿主免疫研究室 室長）

“固形がんに対する造血幹細胞移植と免疫遺伝子治療複合療法の開発”

演者：岡田 尚巳（国立精神・神経センター 遺伝子疾患治療研究部 室長）

“骨髄間質細胞を用いたがん遺伝子治療”

15：10 - 15：30 . . . . . 休 憩 . . . . .

15：30 - 16：00

**第3部：“循環器疾患への応用”**

座長：森下 竜一（大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝子治療学 教授）

演者：室原 豊明（名古屋大学大学院 医学系研究科 循環器内科学 教授）

“細胞移植による血管再生医療の発展性について”

16：00 - 17：30

**第4部：“遺伝性疾患への応用”**

座長：小野寺 雅史（国立成育医療センター研究所

成育遺伝研究部 遺伝子診断治療研究室 室長）

大橋 十也（東京慈恵会医科大学 DNA 医学研究所 教授）

演者：大橋 十也（東京慈恵会医科大学 DNA 医学研究所 教授）

“ライゾーム病の新規遺伝子・細胞治療法の開発”

演者：小野寺 雅史（国立成育医療センター研究所

成育遺伝研究部 遺伝子診断治療研究室 室長

“原発性免疫不全症に対する遺伝子治療”

演者：玉井 克人（大阪大学大学院 医学系研究科 遺伝子治療学 准教授）

“骨髄間葉系幹細胞を利用した遺伝性疾患治療法開発のストラテジー”

17:30 – 18:00

**第5部：“遺伝子治療の将来像”**

座長：浅野 茂隆（早稲田大学 理工学部 生命理工専攻 教授）

演者：谷 憲三郎（九州大学 生体防御医学研究所 ゲノム病態学研究分野 教授）

“遺伝子治療：現状と今後の展望”

18:00 – 18:10

**第15回 日本遺伝子治療学会学術集会の案内**

金田 安史（大阪大学大学院 医学系研究科 遺伝子治療学 教授）



**Make the Front Runner**  
**関西バイオクラスタープロジェクト**